



1学期 元気に過ごしました

令和2年度の1学期は、7月31日に終業式を迎えました。安心・安全な学校生活を過ごすにはどうすればいいのかについては、日々緊張感を持って検討してきました。

保護者の皆様も、登校することに対して不安だったことと思います。担任の顔もわからず、分散登校のため、中々同じクラスのお友達が揃うことが困難な状態が続きました。けれども、「やっぱり学校で過ごす時間はいいな」と子ども達の姿から感じる時間がありました。保護者の皆様と同じように、地域の皆様のご支援の賜物です。ありがとうございました。

2週間の夏休みの過ごし方は、「自分で計画を立て自分で過ごせる力」を育てられたらと願っております。各ご家庭の事情があるとは思いますが、2学期からは、毎朝の検温は、自分でできるようになるといいですね。

家庭と学校で担う役割について、分担ができるようになると子どもも大人も余裕ができます。2学期からは、学校での検温はしなくてすむように、また、マスクの着用を確実にできるようなご理解・ご協力をお願いいたします。

お互いを大切にできる心を育てたい

子ども達は「学校」という時間の中で、自分の考えを他人と過ごすことで確立していきます。自分の考えと違うことは、自分を否定されたと思い込み話し合う気力が出ない子どももいます。わかり合うための時間を持つといいのですが、なかなかうまくできません。

下の写真は、2年生の国語「スイミー」の授業風景です。自分のワークシートに付箋が貼られています。お友達からの意見が書かれた付箋です。子ども達は、この付箋で認められていることを実感しています。このような取組は自己肯定感を高めます。自分の居場所がある子どもは、落ち着きがでます。楽しい夏休みを過ごしたみなさんとの8月18日の再会を楽しみにしています。

